



*学校記入欄

(記入例1)

在留が1ヶ国の場合の留意点
・在留期間、国名を下段に記入

(西暦) 2024年11月15日

海外在留証明書(2025年度入試用)

立教女学院中学校長 殿

(機関所在地)

(機関名)

(責任者役職および氏名)

(印鑑または署名)

〔本記入例での記載省略〕

公印

貴校志願者 杉並花子 は、下記のとおり保護者の海外赴任に伴い
海外に在留したことを証明します。

記

■在留期間

1. 志願者氏名: 杉並花子

※直近在留地を下段にご記入ください。

	開始 (西暦)	終了 (西暦)	海外在留地 (国名)
志願者	年 月 日 2020年9月2日	年 月 日 2024年3月31日 在留中[年 月 日 帰国予定]	[シンガポール]

2. 保護者氏名: 杉並太郎

	開始 (西暦)	終了 (西暦)	海外在留地 (国名)
保護者	年 月 日 2020年8月25日	年 月 日 2024年3月31日 在留中[年 月 日 帰国予定]	[シンガポール]

※必ず保護者の所属する会社(機関)の証明を受けてください。
※海外在留証明書は、本校所定のものを使用し原本をご提出ください。
※証明日時点で在留中の方は、入学後に改めて帰国日に関する確認を行っております。

保護者記入欄

3. 志願者と保護者の在留開始日または終了日が異なる場合、その理由をご記入ください。

〔父親が仕事の引継のため母子より一週間程早く赴任しております。〕

以上



*学校記入欄

(記入例2)

在留が2ヶ国以上に渡る場合の留意点

- ・出願資格に係る在留国(連続している場合は全て)を記入
- ・直近在留地を下段に記入

(西暦) 2024年11月5日

海外在留証明書(2025年度入試用)

立教女学院中学校長 殿

(機関所在地)

[本記入例での記載省略]

(機関名)

(責任者役職および氏名)

(印鑑または署名)

公印

貴校志願者 立教 希美 は、下記のとおり保護者の海外赴任に伴い海外に在留したことを証明します。

記

■在留期間

1. 志願者氏名: 立教 希美

※直近在留地を下段にご記入ください。

	開始(西暦)	終了(西暦)	海外在留地(国名)
志願者	2021年12月27日	2023年3月31日	[アメリカ合衆国]
	2023年4月1日	年 月 日 在留中[2025年3月31日 帰国予定]	[オーストラリア]

2. 保護者氏名: 立教 一郎

	開始(西暦)	終了(西暦)	海外在留地(国名)
保護者	2021年12月1日	2023年3月31日	[アメリカ合衆国]
	2023年4月1日	年 月 日 在留中[2025年7月31日 帰国予定]	[オーストラリア]

※必ず保護者の所属する会社(機関)の証明を受けてください。

※海外在留証明書は、本校所定のものを使用し原本をご提出ください。

※証明日時点で在留中の方は、入学後に改めて帰国日に関する確認を行っております。

保護者記入欄

3. 志願者と保護者の在留開始日または終了日が異なる場合、その理由をご記入ください。

[
 アメリカ合衆国: 環境が整うまで父親単身赴任
 オーストラリア: 子の進学に伴い母子が先に帰国
]

以上